広報みしま

町のすがた

（4月1日現在）

人口	男	3,330人（－2）
	女	3,531人（＋2）
	計	6,861人（ 0）
世帯数		1,569 （－1）

（ ）は3月1日との比較

4

第157号
毎月15日発行
定価1部20円

昭和56年4月15日
発行 新潟県三島郡三島町役場
☎（025842）㈹2221
昭和53年7月4日第3種郵便物認可
印刷 長岡市㈱中越タイプ社

それぞれの門出

4月は、大人も子供も新しい門出を迎えます。そんな門出を2つ点描してみました。

4月5日、与板郷消防斉場事務組合に町が加入したことを記念する防火パレードと、新しく入署した6人の町出身の消防士の卵たちを激励する行事が行われました。

一方、町内の保育所の入所式は6日と7日に行われました。今年度開設した南部保育所の入所式は6日。3歳未満児のクラス「ひよこ組」にも4人のかわいいひよこたちが入所しました。

ようやく迎えた春。あなたの門出、そして出合いはどんなでしたか。

せいこちゃん、のりこちゃん、さちこちゃん、ともこちゃんの四人。このうち三人は誕生日の同じ三姉妹。不安と未知の生活への期待からか、八つのひとみはまばたきもしないで保母さんに向けられていた。

いくぶん緊張ぎみだったが、むしろ初々しく感じられ、入署間もない6人とは思えない頼もしい訓練の一端をのぞかせてくれた。

東西南北

税金を食べる "ポイ捨て空かん"

ジュースやビールなどのかん飲料は、ここ数年たいへんな勢いで増えており、一昨年一年間で九十二億かんも造られました。

ところがこの空かん飲み終ったら"ポイ"と捨てて下さいと"使用上の注意"が書いてあるかのようにところかまわず散乱しています。

随筆家の戸塚文子さんは、どんな立派な施設で教育をほどこせ、いかに高等教育をほどこしても、子供たちの目に映るこの光景がすべてをムダにしてしまうとまで、地に堕ちた公徳心に正面から疑問を投げかけておられます。

指摘されるまでもなく、"気軽"に投げ捨てられる空かんはそこで日常生活を営む人々にとって、ふんまんやる方ない"通り魔汚染"なのです。

その結果、地元の市町村やボランティアの人々に回収作業というツケを回すことになるのです。市町村の場合、税金という私たちの"会費"が使われるのはいうまでもありません。

投げ捨てられた空かんが回り回って税金を食べている――と考えたら、チョットの「気の緩み」などでは済まされないはずです。さらに回収、再生のルートに乗せれば、省資源・省エネルギーの面からも"税金"が生み出されるはずです。

消防団の新しい顔ぶれ

任期満了による異動

町消防団の団長、副団長などの任期は二年となっており、今年がその改選期にあたります。

四月一日付けで発令された部長以上の新しい消防団幹部は再任も含め次のとおりです。（敬称略）

団長片桐保男　副団長兼教育主幹松浦與喜雄　訓練部長河内唯司　技術部長青柳元一　予防部長兼旗手佐藤勝利　第一分団長河内龍二　第二分団長中村良信　第三分団長荒川聰　第四分団長滝沢栄一　自動車隊長丸山昇次　以下部長丸山春夫　山後弘　新保鉄雄　山田紋一　片桐藤男　押味清　大島精一　中村良雄　五十嵐勝五　片桐好晴　佐藤亘　米持福松　安達保幸　棚橋一雄　小林進　西清次　小林茂男　結城喜作。

気をつけて山火事

消費生活の相談員に七日市の斉藤睦子さん

消費生活に関して皆さんからの相談を受けたり、苦情を受け付けてその解決などに当っていただく「新潟県消費生活改善推進員」に七日市の斉藤睦子さんが委嘱されました。

斉藤さんからは、町のくらしの相談員（五人）とともに、日常生活における消費生活の気軽な相談者として活躍していただくことになっています。

不良商品や欠陥商品を買わされても、これが表面化しないため、なかなか改善されず、この種の商品をはびこらせる要因ともなっています。商品に不審を感じたり、疑問を感じられたときは、お気軽にご相談ください。（☎八二三二）

県政のおたずねは県政ポストのはがきで

役場と支所の玄関に「県政ポスト」と表示し、はがきが用意してあります。

このはがきは、県政について、広く県民から建設的な意見や要望を聞くため、県が市町村の窓口に用意しておくものです。

投書された意見や要望については、県民広報課を通じて県側の責任ある回答が得られることになっています。どしどし建設的な要望などをご投書下さい。

役場人事

四月一日付けで次のとおり、役場職員の異動、採用等がありました。カッコ内は旧職名等。

▽昇任・異動　■総務課・課長遠藤栄助（企画調整課長）■住民課・日吉支所長（課長兼務）片桐藤作同主事補小林義彦（企画調整課）同南部保育所長心得佐藤君子、同給食婦片野トク（教育委員会）■産業課・農業共済係長青柳衛（同係長心得）■建設課・管理係長難波正（同係長心得）■企画調整課・課長米持昭次（議会事務局長）■税務課・課長青柳昇（教育委員会事務局長）■議会事務局・事務局長木戸保之（総務課参事）■教育委員会事務局・事務局長井上勝三（税務課長）同庶務学校教育係長（兼務）原田洋衛。

▽採用　■住民課・保母田中和美、同荒川佐和子、同渡辺裕美子、■教育委員会・給食婦小林栄子、同小川愛子、用務員諏訪田久蔵。

▽退職　青柳三次（支所長、三月三十一日付）

よろしくお元気で

町内小中学校教職員異動

町内の小・中学校の先生方および職員の方々の異動が次のとおりありました。（敬称略）

＊新しい先生カッコ内は前任校等。

◇日吉小学校校長吉野長治（糸魚川・来海沢小）教頭竹田光彦（十日町・大池小）教諭宮澤典子（新採用）養護助教諭本間真理子（新採用）主事馬場啓子（長岡・日越小）◇脇野町小学校教諭田村昇一（寺泊・夏戸小）同岩下テイ（長岡・下川西小）同山田紀子（長岡・四郎丸小）養護教諭堺由美（新採用）◇三島中学校校長渡辺輝夫（越路・岩塚小）教諭今井大治（長岡・東北中）同押木敬子（小千谷・吉谷中）同菊地恒夫（見附・葛巻中）養護教諭八田由美子（脇小）主事川合勝一（寺泊・夏戸小）

＊転任・退職された先生カッコは転任校等

◇日吉小学校校長根津直重（退職）教頭寺井久司（見附・新潟小）教諭猪飼松子（退職）養護教諭牧野祐子（板倉・宮島小）主事角谷静子（見附・田井小）◇脇野町小学校教諭佐藤美代（長岡・川崎小）同相浦美子（松代・孟地小）同飯田美代子（長岡・日越小）養護教諭八田由美子（三島中）◇三島中学校校長青野八千男（亀田・亀田西小）教諭関四郎（中里・倉俣中）同磯野二三枝（新潟・上山中）同古川恵子（上越・直江津東中）養護助教諭斉藤裕子（退職）主事駒木根廉子（聖籠・蓮野小）

今月の保健行事

対象者	内容	とき	ところ
52.10～53.3 出生児	三種混合予防接種Ⅱ期	4月22日 14：00～15：00	福祉センター
53.10～54.3 〃	三種混合予防接種Ⅰ期の1回目	4月22日 14：00～15：00	〃
	三種混合予防接種Ⅰ期の2回目	5月22日 14：00～15：00	〃
53.2～56.1 〃	ツベルクリン反応	5月13日 14：00～15：00	〃
	ツベルクリン反応判定 BCG	5月15日 14：00～15：00	〃
55.7～55.8 〃	3か月児健診	5月28日 12：30～1：30	〃
55.1～56.2 〃	9か月児健診	〃	〃
中学2年生	ツベルクリン反応	5月12日 14：00～15：00	中学校
	ツベルクリン反応判定	5月14日 14：00～15：00	〃
小学1年生	ツベルクリン反応	5月6日 14：00～15：00	福祉センター
	ツベルクリン反応判定	5月8日 14：00～15：00	〃
ツベルクリン反応陰性者	BCG	5月15日 14：00～15：00	〃
脳卒中後遺症者	機能回復訓練	4月27日 9：00～12：00	与板保健所
		5月8日 13：00～16：00	
		5月25日 9：00～12：00	
希望者	キッチンカー（栄養指導車）	4月24日 10：00～11：30	本町中 川酒造前
		4月24日 13：30～15：00	逆巻会館前

火災・救急は119番

火災・救急時の通報は、あわてずに必ず「119番」で。

近くの目標物もはっきりと連絡してください。

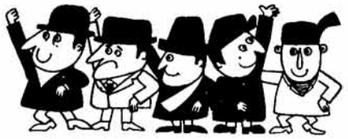
「緑の羽根」ご協力を

今年も緑の羽根街頭募金運動が今月一杯行われます。

国土緑化の国民運動の一つとして実施されるもので、寄せられた募金は、校庭、社会福祉施設、公園等身近な施設の植樹などに生かされます。ご協力ください。

181万円の使いみち

各など生活環境施設を重点整備



健全財政の下で創意と工夫

新年度の町の台所をまかなう予算が、先の三月議会定例会で議決されました。

町民のよりよい暮らしのために、これから一年間、この予算を基に各種の施策、事業が実施されます。

予算総額は、一般会計が十三億百八十一万四千円で、前年度の当初予算に比べて九・一％減、また、二つの特別会計のうち国民健康保険は二億六千四百九十四万二千円、農業共済事業は五千三百三十万九千円です。

この町の予算がどのように編成され、どのような事業に使われ、わたしたちの暮らしに役立っていくか、そのあらましをみてみました。

町の新年度予算は、「明るい豊かな町民生活の実現」を基調とする基本構想を柱に地方財政計画のポす方向にそって、自主的な健全財政を貫く方針で編成されています。

地方財政計画では、財政の健全化を目標に、経費の徹底した節減合理化を図りながら、財源の重点的な配分を行い、節度ある財政運営を基本に策定されています。

56年度会計別予算額

一般会計	13億181万4千円
国民健康保険特別会計	2億6,494万1千円
農業共済事業特別会計	5,330万9千円

事務の能率化と経費節減

地域産業の不況回復が十分といえない経済情勢の下で、町税の伸びは大きく期待できません。

そのうえ、自主財源の乏しい当町は、七割以上を国や県からの財源に依存しています。少ない財源、厳しい台所に対処するため、人件費など一般経常経費の削減と、人事や組織管理、事務の見直しなどを行い、徹底した事務の能率化と経費の節減が図られています。

■町道等の整備一億五百万円

予算は四つの重点施策を基本に編成されています。

まず第一は、生活関連資本の整備充実です。このなかでは、従来から施策の大きな柱となっている町道の改良、舗装等の事業費一億五百万円、消雪パイプ等の融雪施設事業四千五百万円、河川改修事業二千六百万円、昨年度からの継続事業の吉崎近隣公園一千四百万円などが大きな事業です。

このほか、長岡地内に建設される流域下水道処理場の建設事業の負担金として一千万円が計上され、これまでになかった新しい事業が顔をみせています。

■「転作」三百二十万円

第二は、農村及び産業の振興です。今年度百二十一ヘクタールもの転作目標面積が配分され、今後も長期化する水田利用再編対策に町単独事業で三百二十万円が計上されたのを始め、それに関連する推進費や、転作の定着化を図るためのきめ細かな対策が用意されている一方、地域の農業振興のための事業費一千七百万円、今年度から着工される県営ほ場整備事業に五百五十万円、今年度が最終年度をむかえる第二次林業構造改善事業に二千四百万円が計上されています。

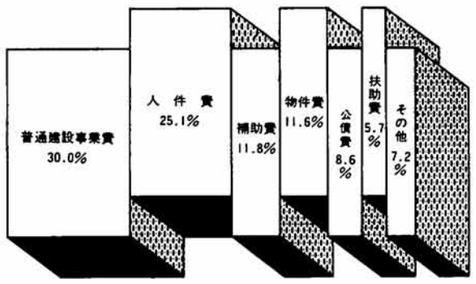
このほか、商工業についても、構造不況対策のための貸し付け資金、ノコギリ機械施設の導入等に対する補助など、不況業種対策にも重点的な配分が行われています。

■健康づくり事業に百万円

第三は、社会福祉とその施設の充実です。増え続ける医療費に、健康づくりの面からストップをかけようと百万円が計上されたのを始め、町ぐるみで青少年の健全育成をすすめる「青少年健全育成町民会議」の設置が決まり、これに対する補助金四十万円が新規事業として盛り込まれました。

このほか、今年度中に着工が予定されている特別養護老人ホームの実施母体となる福祉法人設立準備委員会に二百五十万円の助成が行われます。

一般会計予算性質別歳出の内訳



資金が必要な中小企業主の方へ

県内の中小企業を対象にした公的な融資制度、機械設備の貸与制度の受け付けが始まっています。

いずれも低利、または無利子の有利なものです。店舗の改装資金、機械設備の合理化、近代化を計画されておられる事業主のみなさんは早めに町商工会、または産業課に照会のうえご検討ください。

今回受け付けをしている資金等は次のとおりです。

中小企業設備近代化資金、中小企業設備合理化資金、中小商業近代化資金、機械設備の貸与制度。

はかりの定期検査

四月二十日～二十一日に

取り引き、証明に用いる計量器は定期的に検査を受け、原則として検定証印のあるものでないと使用できません。

この、いわゆる業務用はかりの三年毎の定期検査が次の日程で役場で行われます。該当する計量器をお持ちの方は忘れずに受検してください。

◇四月二十日と二十一日。いずれも午前は九時～十一時三十分、午後は一時～三時三十分。

建築主事の勤務日変更

与板土木事務所

四月一日から、与板土木事務所の建築主事の勤務日が変わります。在庁する日は月・水・金曜日は一日、火、木曜日は午後だけとなります。

これは、従来与板土木事務所に配置されていた建築主事が配置されないことになり、長岡土木事務所の建築主事が管内の事務を兼務することになったためです。

建築物について詳細の問い合わせを必要とする場合には、在庁日をお確めください。

春の防犯運動

十六日から三十日まで

与板警察署では、春先に多い犯罪や事故の防止のため、次のように注意を呼びかけています。

あき巣・忍び込み――チョットの留守でもカギをかける。ふろ場、便所等の窓の戸締り。外出する時は隣近所に頼む。窓の下、へい際などに足場に使われやすい物を置かないなど。

痴漢――通りすがりの人に誘われてもはっきり断る。夜道は一人で歩かない。身なりをきちんとするなど。

押売り――品物に触れたり、話を聞かないで最初にはっきり断る。そのほか、青少年の非行防止など、地域ぐるみの防犯運動の盛り上がりを望んでいます。

水道の冬期間料金

五月分で精算

例年冬期間の水道料金は、四月分の料金で精算することになっています。しかし今年度は雪消えが遅れたため、五月分の料金で精算されることになりました。

今年度も重点的に実施される生活環境整備

わたしたち1人に約19万円

新年度の一般会計予算総額を町の人口で割ると1人当り18万9,741円となります。

このお金は、主に次のような目的に使われます。

■町体育館三階を増築

第四は、教育・スポーツの振興です。学校関係では、九月実施をメドに米飯給食（週三回）導入のための設備費が計上されました。

社会教育の充実と、公民館活動の推進を図るため、町体育館の三階増築工事が行われ、今まで以上に多目的な活用、活発な利用ができるようになります。

重点施策以外では、将来の役場庁舎改築に備えて一千万円の基金が積み立てられました。これは、補助制度などの適用がない庁舎改築費を長期的に準備し、多額な支出に備えようとするものです。

町史編さん室 ＞30＜

脇野町の米山塔

河内武志智

米山薬師は農業の守り如来として敬われている。五穀豊穣、耕作安全を祈って農村に米山塔、庚申塔が建ててある。

越後の名山、米山山頂には薬師如来が祀られて、講中が参拝して病虫害防除、豊作祈願をしてお札を受けて来て田畑に立て、耕作に励んでいる。

大字脇野町の米山塔は、明治十四年巳十月八日に小字豊結の一角に建立されていた。ここは、小木城川から取水をして稲作に欠かせないかんがい水を座主、目切、沓ヶ新保へ流す三線の分水点であって、農家の集合所でもあり、農道、江筋の管理、川刈りや水番、田植、稲刈り等の相談をする所である。

日照り続きで山から川水が不足のときに、出雲崎町小木の三光院から山伏僧を招いて米山塔で雨ごい祈願したこともある。

米山の秋祭りは十一月八日。作物を収納し、一年の野仕事の幕を閉じ、米の山を祝して僧侶を頼んでお経をあげて収穫感謝祭を行い、祝杯で楽しく一年を終える。

昭和五十年、塔は米山橋の架け替えに伴って米山橋の東詰めに移されたが、その後脇野町農家組合の生活改善センターも隣りに建築されるなど、農業の守り如来、農家の人々の寄り合い場所のシンボルとして、そのまま受け継がれている。

米山塔

新消防団長に片桐氏

(右)片桐消防団長
(左)松浦消防副団長

四月一日付けで消防団の新しい人事の発令が行われました。

新しい消防団長には前の副団長の片桐保男氏（中条）後任の副団長には同訓練部長の松浦與喜雄氏（気比宮）です。

他の新幹部、部長以上の人事は四ページに掲載。

消防斉場組合議会議員に 青柳氏ら三氏

四月一日から加入した「与板郷消防斉場事務組合」の議会議員に次の三氏が選出されました。

▽青柳長一（新保）▽難波武雄（藤川）▽小林太左衛門（上岩井）

なお、組合議会は、加入四町村、各三名づつの十二名で構成されています。

自治功労者に 佐藤さんと渡辺さん

佐藤さん　渡辺さん

三月十七日、五十五年度の町自治功労者表彰式が役場で行われ、佐藤佐久治さん（下河根川・七二歳）渡辺幸左衛門さん（同・六二歳）の二人が表彰を受けられました。

佐藤さんは、保護司、社会福祉分野での功績、渡辺さんは、地域農業の指導者としての功績が顕著であったことにより、それぞれ晴れの受賞となったものです。